

岡山県文化特別顕彰について

岡山県では、文化の各分野において国内外で顕著な功績を上げられ、多くの県民に感動や喜びを与えた個人又は団体を顕彰するため、「岡山県文化特別顕賞」を贈呈することとされています。

この度、次のとおり被顕彰者を決定し、贈呈式を行うことといたしました。

記

1 被顕彰者

(1) 高木 聖雨 (書家)

(2) 菅井 竜也 (将棋棋士)

功績、受賞歴等は別添のとおり

2 贈呈式

日時：平成29年10月24日 (火) 13:00～13:30

会場：岡山県庁3階特別応接室

3 岡山県文化特別顕彰の概要

(1) 目的

文化（学術を含む。以下同じ。）の各分野で国内又は国外において顕著な功績を挙げるなど、岡山県を全国にアピールし、県民に多くの感動を与えた個人又は団体を顕彰し、もって本県の文化の振興に資するため、岡山県文化特別顕彰を実施する。

(2) 対象

顕彰の対象は、次のいずれかの個人又は団体とする。

① 本県に活動の拠点を置く個人又は団体

② 本県出身者又は本県出身者で構成されている団体などの本県にゆかりのある個人又は団体

(3) 制度創設

平成13年から実施

4 過去の被顕彰者及び主な功績

- H13. 5.30 有吉道夫 (将棋棋士)
将棋特別栄誉賞 (通算 1000 勝達成)
- H13. 9.28 重松 清 (作家)
第 124 回直木賞受賞
- H14. 7. 4 蛭田二郎 (彫刻家)
日本芸術院賞受賞
- H16. 12.16 小川洋子 (作家)
第 55 回読売文学賞受賞等
- H17. 5.27 坂手洋二 (劇作家)
第 8 回鶴屋南北戯曲賞受賞
- H19. 3. 1 高木聖鶴 (書家)
文化功労者選出
- H28. 2.12 原田マハ (作家)
岡山を舞台とした小説が映画化
- H28. 2.12 森和俊
アルバート・ラスカー基礎医学研究賞

岡山県文化特別顕彰被顕彰者資料

氏名	高木 聖雨（たかき せいう） 本名：茂行（しげゆき）	
生年月日	昭和 24 年 9 月 8 日（68 歳）	
出身地	総社市	
現住所	東京都練馬区	
現職	大東文化大学文学部教授ほか	
功績概要	<p>高木氏は、日本の書壇を代表する漢字書家の 1 人である。同氏は、中国古代文字・<small>きんぶん</small>金文を得意とし、漢字二字を<small>てんしよ</small>篆書で表現した大作「<small>しゆん ぽ</small>駿歩」は、平成 27 年改組新日展で最高賞の文部科学大臣賞を受賞、同作品は「現代的感覚の横溢した傑作」と評価された。</p> <p>また、平成 29 年、卓越した芸術作品又は芸術の進歩に貢献する顕著な業績があると認められた者に贈られる日本芸術院賞を書「<small>きょうりく</small>協戮」で受賞。同賞受賞者から特に選ばれて送られる恩賜賞を本県出身者として初めて受賞し国内最高峰の栄誉に輝く。</p> <p>一方、大東文化大学等で教鞭を執る傍ら、日展の審査員を務めるなど後進の育成に精励。出身地である総社市では平成 26 年度から開催されている高木聖鶴児童生徒競書大会の審査員を務めるなど、郷土の書文化の振興にも尽力している。同氏の活躍は文化の発展への貢献にとどまることなく、青少年健全育成・教育の面からも高く評価されるべきものである。</p>	
受賞歴等	平成 27 年 10 月 平成 28 年 11 月 平成 28 年 11 月 平成 29 年 1 月 平成 29 年 6 月	改組新第 2 回日展文部科学大臣賞 マルセン文化大賞 総社市政功労者 山陽新聞賞（文化功労） 恩賜賞・日本芸術院賞
主な略歴	昭和 48 年大東文化大学文学部卒業。平成 18 年 4 月大東文化大学文学部書道学科助教授・准教授。平成 23 年 4 月から同大学教授。 平成 28 年 12 月から(公財)全国書美術振興会理事長。 平成 29 年 6 月から(公社)全日本書道連盟常任理事。	

岡山県文化特別顕彰被顕彰者資料

氏名	菅井 竜也 (すがい たつや)	
生年月日	平成 4 年 4 月 17 日 (25 歳)	
出身地	岡山市北区 (旧御津町)	
現住所	岡山市北区	
現職	プロ棋士 (日本将棋連盟)	
功績概要	<p>菅井氏は、関西将棋界における若手実力派の棋士である。平成 22 年プロ棋士養成機関「奨励会」三段から四段に昇格し 17 歳でプロ入り。平成 23 年大和証券杯ネット将棋・最強戦で羽生善治名人を破るなど棋戦初優勝を飾る。この結果を受け、類まれなる成績により五段に特別昇段する。同年の活躍が評価され将棋大賞新人賞を受賞。その後も、平成 24 年朝日杯将棋オープン戦で準優勝、平成 26 年度棋戦トータル成績で勝率 1 位と最多勝をマークするなど名実ともに実力者としての地位を確立する。</p> <p>平成 29 年、第 58 期王位戦挑戦権を獲得すると、羽生善治三冠との七番勝負を持ち味の「菅井流」で完勝し、見事初タイトルを奪取。岡山県出身棋士では実に 34 年ぶり、平成生まれの棋士では初のタイトル保持者となる快挙を成し遂げる。</p> <p>また、同氏が小学 4 年生から腕を磨いた倉敷市大山名人記念館で、平成 25 年から地元小中学生を対象とした将棋講座「菅井教室」を開催し、門下生の指導育成にも惜しめない力を注いでいる。同氏の活躍は県民に将棋の魅力を再認識させるものであり、本県文化振興への多大な貢献が認められる。</p>	
受賞歴等	平成 23 年 8 月 平成 23 年度 平成 26 年度 平成 27 年 10 月 平成 27 年 7 月 平成 29 年 8 月	第 5 回大和証券杯最強戦優勝 将棋大賞新人賞 将棋大賞勝率 1 位賞・最多勝利賞・升田幸三賞 第 46 期新人王戦優勝 岡山県芸術文化賞準グランプリ 第 58 期王位獲得
主な略歴	平成 22 年度四段。平成 27 年度竜王戦第 4 組昇級者決定戦で勝ち第 3 組昇級を決め、2 年連続昇級により七段に昇段。棋戦優勝 2 回。現在、順位戦 B 級 1 組に在籍。第 58 期王位。	